三日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十銭
□郵税 金十五銭
□一部賣 金三銭
□廣告料一行 金六十銭
□雜報欄 金九十銭
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座仙台一〇八五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 岡田弘成

福陽美術展愚感

高瀨勝男

近頃代用品なるものばかりで、それもよいがども値段の割に實際價値がなく、一層無駄が重なつてこまるには閉口だ、同じく時代意識という奴も案外代用品に似た便乗主義に墜ち勝、警戒しないと、とんでもないことになつてしまつて、代用品の便では、やりきれないないとも限らない。

聲を大にし新体制と[illegible]がきて實踐躬行至つて獨善的の弊を[illegible]くらねば[illegible]か、と近頃は頭と体が[illegible]だにされる様、[illegible]子でもない積りだが飴玉[illegible]口にある[illegible]は慰さ[illegible]れるもの、[illegible]にしても、[illegible]づかしくなるが、ところで福陽美術展を平へもつてきて見せてくれたのはありがたいところだが、存外低調な展覧會でこれでは書畫屋の即賣會もどうだ、もすこし面様の整つた格があつてもよささうな氣がする、出品人の地方展だからの故も尤もなことながら、態々市のお偉方が御賛同申し招致斡旋の宣傳も氣の毒、大体この土地上層部の文化關心が水準以下のところへ美的素ようも零な人達の親[illegible]げか、だから致し方がなかつたにしてもこれで二度目の開催故聊か當時者のお人好にあきれざるを得ない、公會堂は立派なのだ、立派な會場にこれはまあなんと雜色顯然たることよ、土地の人達が貧寒をたゝいてやらやと催く展覧會よりもひどい、展覧會となるからには、晴着をきせてわが子を送りたいのが親心だらう、出品規格と出陳撰別の責をとつてこそ、見られようものと判じられる。どうも日本畫の連中はきれいごとで濟しすがる僻が鼻について、仕事が多分に消極的に纏めつめ、風がありやしなか、因循姑息な床の間藝術、覇氣のない色事、お上品なおもわせぶり、祖父相傳のお家藝式にはめられた傳統から、脱けきれないで居るのがもどかりな、なべられ、作品から迫る創造への感激が湧してこない、もつと[illegible]つ作意的な旺盛・良心をもつ、かくあらねばならない決定的な表出こそ、のぞましいものと呼びかけたい。そして福美の君作家連が、張りのある、努力を一作ごと示して先輩のどうにもならない強化性をゆすぶらなければ駄目だ。お茶をにごす勉強で、本當の仕事の味が出るものでな。

○

自然を知ることは神を知ることである　ゲーテ

雜詠

渡邊松久

○夕されば裏山さみし麓家に火あか〳〵と燃ゑにけるかも

○すめ[illegible]とかし[illegible]雄々しくも出で立つどもの征衣[illegible]

○大君の邊にこそ死なむ益良夫の行ふ道は悲しかりとも

○防人の妻がうへ眞心現身をみなになきぞ悲しも

○戰ひに倒れし友をみとりする白き天使の愛しも

○過ぎし日想ひ出語りつゝゆく夜のくらき舗道を妹とあゆめり

連續講談 異説赤穂浪士（いせつあかほろうし）

別題『異説赤穂義士』『赤穂誠忠録』

［71］

桃川若燕 講
鷗城木喬

犬猿の津田と菅野

するとその翌日、津田の娘菊江がやつて來て、

『菊江様今日は大變嬉しさうで……近い内にお目出度があるさうでございますね』

『マア伯母様、どこからそんなことを』

『イヱもうよく存じて居ります、お嬉しうございませう』

『マア伯母様――』

と云つたが其處は初心な娘の事思はず顔に紅葉を散らした。

『婿殿は何れの御家中で……』

『アノ伯母様に仰しやられると妾恥かしくて……』

『マアいゝぢやアございませんか――』

『は申し上げますが、アノ寺田様の……先日御當家にお出でになりました』

『では矢張り……』

『エヽ、伯母様一生の御恩は忘れませんわ』

いよ〳〵入違ひであることが確かとなつたので、おるいもこれは大變なことになつたと思つて、

『それについて菊江様、嫁入り婿取りは、一生の大事、身[illegible]べになりませんと、取り返しがつかない事になります[illegible]てお急ぎにならない方が――』

と云つたが、これを聞いて菊江が妙な顔をした。

そのうち間もなく六郎右衛門に御殿からのお招き、そこで早速御前に出て見ると、用人の原田左近と隣家の津田新五郎とがパチリパチリ碁を圍んでゐる。傍には右京太夫殿が熱つとそれを御覽になつてゐる。

『オ・六郎右衛門か、サア〳〵これへ參れ』

『ハツ』

『只今新五郎が三人を續け討つて左近が今四番目に又負けた、五番勝てば予が秘藏の志津三郎の一刀を取らせる、就いては六郎右衛門今度は其方原田に代つて敵討を致せ』

『ハツ』

と云つたが、どう云ふものか、この六郎右衛門と隣りの津田新五郎とは仲が悪い。隣り合つてゐるし、娘が遊びに來る位だから少しは仲を良くしたらよささうなものだが、事每に双方いがみ合ふと云ふ不思議な仲である。六郎右衛門も一寸當惑した。

負ければ面目がたゝぬ、勝てば津田新五郎の怨みを買ふに極つてゐる。

『サ、六郎右衛門、新五郎の相手を致せ』

主命に拒み兼ねた六郎右衛門は、[illegible]

『サア來さつしやい、失禮乍ら新五郎、碁盤には決して負けは致さぬ』

と平素仲が悪いから氣が立つて來る。右京太夫殿[illegible]が黒の一石を打つたのを見ると、

『ア、待て〳〵新五郎、此の一番に勝てば、予て約束の志津三郎兼氏、他に類無の短刀を添ねて取らせる、又六郎右衛門が勝てば一番の勝ちではあるが、兼氏の刀を取らせる』

『ハイ有難き仕合せに存じまする……』

と、両人やがてパチリ〳〵と打ち初めた。

斯うなると何方も負けられない勝負、やがて三對程經つて形がついた。勝負は六郎右衛門が六目ばかり勝つた。右京太夫は、

『イヤどうも面白い碁であつた、約束の如く此兼氏の一刀は六郎右衛門、汝へ遣はすぞ、さて新五郎其方は負けた、負けたが併し勝負は時の運と申すから負けたとて致方はない、餘り面白く打つたからこれは其方に遣はすぞ』

と他の一腰を新五郎に下された。

おでん
たつた揚
やきとり
一平

[illegible]院

外科一般
内臓外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科

平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一二九番

四邊一ぱいに漂ふ
秋色を！
お賞て下さい。

縣指定旅館
割烹 小瀧
電話小名濱一〇三

平……四倉 往復券二割引四十錢
（團体は特に御相談に應じます）
御案内 自動車停留所からの道程
※新舞子、仁井田浦へ……約一丁
※四倉海岸へ……約二丁
※波立藥師、鰐ヶ淵海岸へは……約八丁
合名會社 平四倉乗合自動車
電話五四九

新秋の味覺
とんかつ專門の店
興亞の春を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

鑑定項目
[illegible]
体力：肉体（健康、不健康、相貌）疾病（病根病勢、病名）に關する一切
活動：職業（職業、不職業）天運（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血緣：家族運（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）有無 男女緣（氣質、相性、相剋、緣方位に關する一切）

鶴沼孝昌
平市紺屋町三六

銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

七・七禁令ニ協力シマセウ
Refinetex
リファインテックス
◇純毛當優取扱◇

秋	冬
セビロ三ッ揃	セビロ三ッ揃
○停¥60.00ヨリ	○停¥60.00ヨリ
○停¥130.00マデ	○停¥150.00マデ
オーバー	[illegible]
○停¥55.00ヨリ	○停¥5[illegible].00ヨリ
○停¥30.00マデ	○停¥130.00マデ

國民服（中衣共）仕上り五〇圓ヨリ[illegible]拾圓マデ
大崎洋服店
平銀座 電9

磐城の御みやげ品
改め靈峰羊かん
名物 みやま羊羹（名産梨かん）
――赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土産！
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
製造販賣元
小川郷驛前
[illegible]屋賣店

外科一般
内臓外科
性病科
肛門病科
平市南町十四番地（警察署通り角）
（舊診療所 平市六丁目）
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九番
○入院應需

お醤油は……ヤマフル
塩屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌醤油
たひら正宗
鰹節 食品料
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月隨時
卒業期間 四ケ月（高女卒程度）十ケ月（小高卒程度）
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月隨時
卒業期間 本科一ケ年 速成科六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
（平市 電話四四五番）

ミシンと洋裁
ミシン界の王座
陸軍省御用達
商工省撰定
滿州御指定
純國産ノ權威
アサヒミシン
ニッポンミシン
ニッサンミシン
パインミシン
シンガーミシン
現金 月賦 教授
型録無代進呈
平市田町
シンガーミシン商會
◎中古高價買入

コーライト
木炭・豆炭・コークスの代用燃料
三菱コーライトヲ御奨メ申上マス
特長 火力强ク火持チヨク、木炭ノ半値
御使用ハ御家庭用ノコンロ、火鉢、鍛治用
一俵（五〇キロ）カラ配達致シマスドウゾ御注文下サイ。
昭和十五年六月
平市田町二
ツ 阿部石炭商店
電話一三七 三七番

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

平看護婦會
附屬
家政婦會員を募集
致します
電話三〇七番

[illegible]
臓外科
入院隨意
安齋醫[illegible]
電話四七五番
[illegible]安[illegible]

本年悼尾の 防空演習
全市『火の海』に包まる

本年の悼尾を飾る防空防火演習は二日午前五時半縣統監部から全縣に發令、平警察署では演習實施命令と同時に曉を破つて五速發の煙火を二回擧げて全市民に演習開始を宣げ、全六時警戒警報が發令された、合圖の煙火で駈けつけた市警防團員は本部前に集合整列して同七時縣社鍬神社並に去る一日全國で寄進遷宮式を行つた火伏せの神、秋葉神社に無火災の祈願をこめ全七時半から九時まで市內一齊に全戶のかまどと防空資材の檢査を執行、全市が火の海と化した想定の下に警防團の消防、防毒、救護、工作、避難管理で配給等各部と家庭防空群の綜合演習を行ひ午後四時演習を終了した、

強風に火焔擴まる 空襲想定
綜合演習で優秀の効果收める

第一回の空襲警報は火葬場檢査を終へて間もない午前十時三十分發令、警防團及各家庭防空群の活撥な活動が開始された、第二次空襲警報は引き續き十一時五十分發令、同零時三十分解除、この間各區の現示班（指導員）は適宜に燒夷彈を投下して各々演習を行つた、午後二時十分今次演習の想定に成る第三回空襲警報が發令され、平第一小學校に假想燒夷彈が落下し、同校自衛團及附近家庭防空群が應援に駈けつけたが西北風にあふられて火勢は猛威をふるい、六丁餘離れた新田町の中心旗亭八千代に飛火、警防團消防部の活動目覺ましく風下の防空群は何れも必死となつて火の子を拂ひ防火に努めたが火勢は新田町から銀座通りの一部を燒拂つて三田小路へ移り、更に四丁目ツルヤ商店裏の倉庫に飛火し附近一帶をなめつくし、五丁目泉屋菓子店附近で辛くも喰ひ止め三時五十分空襲解除、同四時警戒警報を解除して所定の演習を終了した、この間一時性ガス彈は隨所に投下されて防毒班の出動爆彈投下で水道破壞の想定下に工作部の演習あり、全燒した中央通りの避難氏を驛前へ集めて救護班や配給班等の活動など警防團の綜合演習は豫想以上の効果を收めた

演習の緊張を持續 防火に心せよ
渡部平警察署長談

今回の演習は例年の火防デーを利用したもので勿論火災の豫防を主としたが、時局柄防空と火災が切り離せない關係にある爲防空思想普及の目的から併せて行つたものである

從來の防空演習と異つた點は『二十五日から十日間內に何時發令するか判らない』と云ふ日時を示さなかつたことで一般に氣をもませたが、それだけ長い間緊重してゐたことになり、平時に於ても防火に對してはこの心組みが最も大切である、演習は各家庭防空群共熟心に參加し、回を重ねる每に向上してゐることが認められたことは何よりも喜ばしい、警防團員諸君も忙繁中に拘らず出席率極めて良く終始緊重裡に各々の職分を全ふし[illegible]する次第である、これから寒さに向つて火災の季節と成るから演習時の緊重した心組みを忘れず防火に努められんことを望む

統監部謝意
今後愈緊張せよ

演習終了と同時に縣の統監部から平警察署員、警防團一同に對じて左の如く謝意を表する處あつた

本日縣下一齊に防火防空デー實施したる處各位は早朝來極めて眞劍に所定の計劃に基き防火防空各般に亘る行事を實施し概ね予期の成績を努め終了じたるは誠に慶びに堪へず目下愈々火災期に入りたるを以て此の後益々緊重し火災豫防に一段の努力を拂ふと共に現下國際情勢に鑑み國民防空の完璧に一路邁進せられんことを切望し今回の演習に御努力を拂はれたことに對し各位に感謝の意を表す

盛況を極めた 磐陽美術展
地方出品入賞決定

一日から平市公會堂に開催中の磐陽美術展覽會は今三日閉會するが第一日目は日曜日だつた爲もあり入場者三千名を超へ三日間を通じ稀れに見る好成績を收めた、市長賞を授與された地方の少壯畫家は左の如し

『三訓の圖』　中川淸七呂
「砂丘」　中山利男
「新舞子所見」　齊藤亮一
「水無月の頃」　鈴木春枝
「山崩ゆ」　小野塚響干

四倉町の演習
好成績裡に終了

二日實施された四倉町の防空防火演習は影山四倉署長以下各署員金成警防團長以下の團員がまづ午前六時二十分鎭守諏訪神社に無火災の祈願をなし空襲警報傳達と同時に各種動作を行つた、火災想定は午後二時二十分敵機三機が四倉町の上空に現れ如來寺に燒夷彈が投下され十五米の西風に煽られて東部一帶を一なめにし同五十分漸く警防團家庭防空群必死の活動により鎭火せるもので好成績裡に終了したが久和警防課長は模範家庭防空群の視察をなした

明五日執行される 內郷村の補選
定員二名超過激戰

石城郡內郷村の補欠選擧はいよ〳〵明五日執行される候補者は磐城炭礦から志賀保治、武藤義造の二名、入山炭礦から庄司平三郎村側から磯貝信夫、四倉淸一、竹島廉平、草野輝吉、大串米藏の五名計八名で定員より二名多く何れも鎬を削つて居る

小名濱加工業者の 統合問題進む

小名濱町產業の中軸をなす鮮魚商組合、製造卸商業組合、鰮食料加工組合等海產物三大組合を打つて一丸とし新体制に順應すべき合流問題は有志者間に唱導されてゐたが過般卸商業組合臨時總會に於て圖らずも議に上り率先して二組合に呼懸ける事になり、過般鮮魚商組合の賛成を求め、鰮加工組合とは正式の交渉には及んでゐないが伊藤加工組合長も早くより合同一丸とすべしと主張してゐる丈けに三組合合同は時の問題となつて居り皇紀二千六百年を記念する爲めに本年中にはその實現を見るものと期待されてゐる。因に組合員は大部分三組合の組合員であり、合同成立の曉は冗費の節減と相俟つて資產の擴充一組合を益々強化する約束つけられたものである

大漁が禍ひして 大鮪も肥料に轉身
損害問題で網主へ苦情持込む

豊間町阿部彥次郎氏經營の大敷網は先月二十二、二十三の兩日に渉り大鮪一千尾近くの大量水揚げし、その金額十五萬圓と注され漁業家の羨望を買つたが、果然、この鮪は市場に於て大問題を惹起し網主仲買、荷受主に大恐慌を來してゐる、即ち一時に大量の大鮪が漁獲された爲め急速な處分が出來ず水溫高き海中に二晝夜も浸して置き市場に送荷した結果中身が腐敗して食料に堪へず、廢棄處分になつたものが相當の數に達し仲買人へ市場から續々通告があり一方仲買人は、通知書を網主に示し嚴重なる交渉を試みてゐるが、この損害は果して、何れが負ふべきか網主は剛腹な評ある阿部氏丈けに仲買人としても、其處に一縷の望を掛けてゐる模樣である、小名濱町某仲買人は語る

大漁の爲め一時に處分出來ず二晝夜も水溫高い海中に浸して置き、その品を陸揚げして東京、横濱、大阪、沼津と各方面に出荷したのだから相當の日數も要して居り、こんな事になつたのだが何分新体制下、商品には一倍と眼の光る今日、商工省厚生省、警視廳と嚴重な監視があるのだから、たまらない、廢棄處分の理由は『腹持の爲め中身變質惡臭甚だしく食品に堪へず』廢棄處分にすると云ふのだから高價な鮪が肥料となつた譯だ、吾々仲買人は網主の阿部氏に對し嚴重掛合中であるが仕切書を提示して問屋の仕切値に妥協を御願したいと思つてゐる

四倉合同町葬
七日零時半小學校で執行

四倉町出身左記四柱の合同町葬は七日午後零時三十分から同町小學校で執行することに決定

故鈴木勇吉兵長、同君は去る九月二十六日北支〇〇堡附近に於て殘敵に遭遇勇戰力闘して戰死

故菊田正上等兵、六月二十三日中支湖北省〇〇縣內の戰闘に參加戰死

故庄司宏上等兵、六月二十七日中支湖北省〇〇縣內の激戰で名譽ある戰死を遂ぐ

故長谷川正美上等兵

育兒用ミルクの 配給所決定

育兒用の乳製品配給機構が漸やく成り、小賣配給所が左の如く決定今月一日から發賣を始めた、今度配給に成つた製品は粉ミルク、キオミール、コンデンスミルクの三種類で乳兒のある方は市役所で證明書を交附する

小賣配給所

平市五丁目　山野邊藥局
仝　四丁目　關內〃藥局
仝　二丁目　大平屋藥店
仝　下平窪　會川　商店

仲田町 冠婚、葬祭全般 自粛申合

平市田町常會仲田町班では一日の常會に於て婚禮は特殊關係を除き組內の披露を廢止すること、出征入營については班全体として五圓を祝し個人では爲さぬこと、出產祝も五圓とし但し長子だけに限り個人としてはなさずまた返禮もなさざること其他の七五三祝七夜、新築等の場合は內論だけにとゞめ金品の贈答をせぬこと病氣見舞に對する快氣祝の返禮を絶對に廢止しこれを班內のみでなく他方面にも實行することゝし今月から實施することを申合せた

恤兵献金
一丁目の關原家で

平市一丁目金物商關原新一郎氏は二日恤兵獻金として百圓を平署に寄托した

縣農工平支店長 山本氏着任

縣農工銀行平支店長に榮轉の山本晴藏氏は二日關係方面く着任の挨拶廻りをした

友の會で 貯蓄の相談

平市の婦人團体「友の會」では百二十億圓貯蓄に關する意見發表會を六日午前九時から材木町の共榮幼稚園で開き意見の交換を行ふ、同會は會員以外の一般に公會參加を希望してゐる

坑夫の危禍
貯水池に轉落溺死

石城郡好間村北好間日曹平炭礦機械係阿部貞三郎（二六）は二日午前二時頃坑內で排水作業中貯水池に轉落溺死した

愛婦平分會で 廢物利用講習

愛婦平市聯合分會主催廢物利用足袋手縫講習會は十一日午後零時半から三時半迄市內四小學校に開く、講習種目は兒童運動足袋足袋カバーで會費は一人に付六十錢で實物大原圖二十八種進呈される、講師は東京家政經濟技藝部指導員で材料は受講者持參であると

中野總裁迎へ 平振東社
四日發會式擧げる

大政翼賛會常任總務中野正剛氏を總裁とする振東社の支部である平振東社の結成式は四日午前九時から平市公會堂に於て開催同十一時から總裁中野正剛氏の時局講演會がある

郡市聯合の 農產物品評會
出品一千餘點

既報平市及び石城郡聯合農產物品評會は二日團体事務所樓上に于係者の打合會を開いた結果十五日に搬入十六日から三日間公會堂に開催する事となつた出品一千餘點の豫定で十八日午後一時から褒賞授與式がある

四倉トラック
一日から合同業務

四倉署管內貨物自動車營業者は一丸となり有限責任四倉貨物自動車會社を一日から本町上澤貨物自動車營業所跡に事務所を設け營業を開始した役員左の如し

社長植田萬治郎、專務理事新妻政雄、監査役早川裕次

平市慶弔錄

【婚姻】平市五丁目十七番地吉田植雄次男信雄（三三）と栃木縣那須郡那須村大字寺子戶主廣妹平山フチさん（三三）

【出生】本籍平市新川町十一番地現住所植田町字横町菊地圓次郎三女紀代美さん△平市五丁目三番地馬目宗平長女俊子さん△平市南町十七番地小林勇長女聖子さん△平市字大舘一番地小柳勇長女千鶴子さん△平市字仲間町十番地飯沼友吉三女セツ子さん△平市字柳町十一番地吉田操三男純さん

【死亡】平市一丁目二十番地菅野好榮次男榮（當才）

となりぐみを語る (1)
『翼賛運動の根幹』
隣保精神の強化が緊急

時難を克服、曠古未曾有の聖業を達成せんが爲、澎湃として起りつゝある大政翼賛運動の根幹を爲すものは、全國一億同胞から盛り上る眞の叫びであらねばならない、故に新制下にあつては町內會部落會等常會の整備が喫緊の急務とされてゐる所故である、常會の整備とは國民生活を組織化し、國民精神を錬成、新体制に即應するの心構へをつくることが目的である、この意味に於て國民は上意下達を俟つまでもなく、進んで下意を上達して政治の圓滑な運用に協心戮力大政翼賛の實を擧ぐべきである、故に隣保互助の精神を蘊蓄せる『隣り組』の歷史をしもとき、併せて平市內の勝れた常會を語り申し合せや活動現況等を紹介し設の參考に資する考へである、幸ひにして各々環境に應じそれ〴〵取捨選擇 隣り組の強化が出來得れば幸ひである、

五人組起源は 大化の改進
秀吉時代防犯が目的

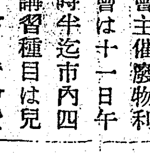
隣り組の始めは大化の改新後孝德天皇の御代、五ケ保の自治組織で五人組が萠芽たと云はれる、この制度は久しからずして一時すたれたが、豐臣秀吉の時代に侍五人、下人（民間）十人の組合せを命じて復活を見るに至つた、秀吉の組織した五人組は戰國時代に横行した辻斬り、スリ、盗賊等を防止することを目的として現行に於ける安寧と秩序を保つ防犯當番、即ち警視廳の別働隊新選組のやうなものと民間の自警團を思はせるものがあり、五人、十人とハッキリ人數に制限を加へたものではなく、武士は新たに五名を一團と決められ、百姓町人は古い慣習を取容れて纏りやすい人數として發達したものである、この十人組の隣り組は相當長い間續き、地方的には江戶時代にも尙殘されてゐたやうである（つゞく）

お願ひ

市內の常會で他に範とすべき申合せや活動狀況等、現に實行しつゝある事柄を詳細御寄稿願ひます。（となりぐみ係）

天氣豫報

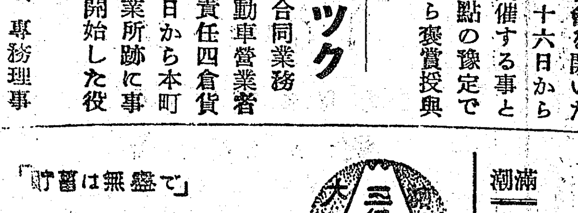
今晩　北西の風晴れ一時曇り
明日　同
二十八日
滿潮　前八、二五　後六、四〇
干潮　後一、二五　前一、〇五



舊十月二十八日　新十二月四日
辛巳　佛滅　破　軫宿

▲一白 目上の者の感情を損ひ易き日ひかへ目が吉し▲二黑 こ息手段を採らず飽くまで働きに依るべし▲三碧 思ひにふければ身をこがす位高きも驕る勿れ▲四綠 打てば打たるゝ世の習ひ低きに居るが安全▲五黃 多少の支障はあれどたゆまず勵めば吉に向ふ▲六白 事を始むるに吉きは但し急ぐ日とはつゝしむべし▲七赤 勞苦を積み報ひの我が身に廻り來る吉日▲八白 流言浮說に動かざる、日新しき事は尤も凶▲九紫 四圍の感情を損せざれば次第に吉運と成る

御誂ひ晴着品は
髙島屋呉服店
電二三六


「貯蓄は無盡で」
一歩一歩ず宝の山
社交が険しくならぬうち
無盡かけましよう今のうち
三仟圓
大

磐城無盡

移轉豫告
弊院儀本月末より本町古港（前津村[illegible]跡）に移轉引續き開業する事になりました、設備も萬全を期しました、豫めお知らせ申上ます
十一月
小名濱町
野村外科

內科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平市田町
電話五一三番
高久病院
院長 醫學士 高久忠

附屬產院 新設
姙產婦入院隨意
產科 婦人科
木村病院
平市新川町
電話一六四番

男女
車掌募集 數名
年齢16—19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

根本產科婦人科醫院
（入院隨時）
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

久
和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九